

秋田県総合診療・家庭医養成プログラム

「日本版ホスピタリスト」という名のお医者さんを目指そう！

複数の疾患を持つ患者さんが増えており、総合的診断能力を有する医師が求められています。本プログラムは、総合診療・家庭医として一定のレベルを獲得し、将来、地域医療を志す医師の指導者を養成するため、秋田県とJA秋田厚生連が連携しながら実施する専門研修プログラムです。

- 特徴 1** 今までのキャリアを生かして希望する科や分野を選択できるなど、テーラーメイドの研修が可能です。
- 特徴 2** 定期的な形成的評価とフィードバックにより、総合診療・家庭医としての知識と技能を確実に修得できます。
- 特徴 3** 地域医療の指導に実績のある自治医科大学地域医療学センターと連携しながら、各科指導医が総合的なサポートを行います。

養成する医師像

- 救急総合診療医** 比較的大規模の病院で、診療の第一段階(初療)を担当する医師。専門医による診療が必要だったり、継続的診療が必要な場合には速やかに担当診療科に引き継ぎます。
- 病院総合医(ホスピタリスト)** 「総合内科」として内科系一般の外来・入院診療にあたります。専門医の診療が必要な場合は診療チームへの参加を依頼したり、専門病院へ紹介します。
- 家庭医** 病床を持たず、診療所を拠点に活動し、訪問診療、在宅医療までをカバーします。イギリス、カナダ、オーストラリアなど英連邦の国々で採用されているシステムです。

研修内容

- daily session 毎朝(8:30-9:00) <前日の救急外来受診患者のチェック>
 - weekly conference 毎週月曜(17:30-) <入院例の病棟全体回診>
 - monthly conference 第1金曜(17:00-) 総合診療カンファランス(原則月1回の予定) <三瀬先生・長谷川先生・中鉢先生出席予定>
 - あきたER&GPカンファランス 4回/年開催<ER実施指導、症例検討会>
 - 初期研修プログラムとの連動 <研修セミナー及び研修医カンファランス/救急カンファランス>
 - ハンズオン企画及び各種講習会 企画運営 <BLS・ACLS・ILS・超音波検査・ECGサーキットなど>
 - 総合診療外来での診療 など
- ◎学会、研究会等への参加については他に定める規定により、参加費、旅費を支給します。
◎日本病院総合診療医学会認定施設、日本プライマリ・ケア連合学会認定施設

研修修了後(3年)に取得する受験資格

家庭医療専門医(日本プライマリ・ケア連合学会)
認定内科医(日本内科学会) ※認定内科医は、2003年以前の国家試験合格者を除く

研修期間の終了後について

修得した能力を充実に発揮できる勤務先を責任を持って紹介します

■モデルプラン(4年目以降は希望に応じて実施)

	研修先病院	研修内容
1年目	秋田厚生医療センター	救急総合診療部3ヶ月/内科系診療科6ヶ月/小児科3ヶ月/その他12ヶ月 (希望により外科・整形外科・脳外科など総合医研修に必要な研修も可能)
2年目		
3年目	湖東厚生病院	総合内科12ヶ月(外来・病棟・在宅訪問研修を含む) (藤原記念病院・横手市立大森病院・大館市立扇田病院も選択可能予定)
4年目以降	希望する医療機関	総合関連専門医取得/各科専門医取得

※新専門医制度が開始された場合は、新制度の総合診療専門医に沿ったプログラムを申請する予定です。

指導医



センター長
齋藤 崇
秋田厚生医療センター
副院長
担当
家庭医療専門研修-臨床薬理



副センター長
作左部 大
秋田厚生医療センター
副院長
担当
家庭医療専門研修
(緩和ケア)・救急医学



中鉢 明彦
湖東厚生病院 院長
担当
家庭医療専門研修
(湖東厚生病院)



副センター長
畑澤 千秋
秋田厚生医療センター
担当
家庭医療専門研修
小児科

講師



三瀬 順一 准教授
自治医科大学
地域医療学センター
地域医療人材育成部門



長谷川 仁志 教授
秋田大学医学部
医学教育学講座
総合地域医療推進学講座

※講師をして頂いていた福井大学 寺澤秀一教授は平成29年3月で退官されるため、平成29年度以降は招聘により講師をお願いさせて頂く予定です。

指導医からのMessage

病院を受診する患者さんの多くは、始めから病名がはっきりしているとはかぎりません。また、高齢者が多い地域では1人の患者さんが複数の問題点を抱えている事も少なくありません。総合診療は医療の始めの部分であり、同時に基本となる部分でもあると感じています。「目の前で困っている患者さんをなんとかしてあげたい」「患者さんの役に立ちたい」そのような志を持った人たちが仲間に加わってくれる事を期待しています。

Dr.作左部

訪問看護と連携した在宅医療の楽しさを味わってみませんか?いくつかの疾患を抱えた高齢者に起こってくる急性合併症への対応、その中で要求される入院の適応/時期の判断、意外に難しい作業でもあります。そして在宅での看取りは在宅医療のひとつの誇らしい到達点です。家族の方と一緒に患者さんの人生の最期の一こまに寄り添わせて頂くことは医師としての成長の糧でもあるのです。

Dr.中鉢

専門性と総合性は、診療を行なう上での車の両輪あるいは縦糸と横糸のようなものでありましょう。どちらかに軸足を置くにしても偏るのではなく、診療の場面場面において臨機応変にどちらをも利用できる力こそが求められているのではないのでしょうか。

本プログラムでは総合的診断能力を有する医師を養成しますが、同時に自己の持つ専門性を生かしたり新たに専門的分野を持つことも可能であり、総合診療という専門分野を深め発展させることができます。

志や興味のある方々の参加を期待いたします。

Dr.畑澤

お知らせ

- 希望される場合は、研修資金(月額20万円)を貸与します。
- 病院敷地内に保育所があります。

お問い合わせ

秋田県健康福祉部 医務薬事課 医師確保対策室

TEL:018-860-1410 e-mail: ishikakuho@pref.akita.lg.jp

秋田県厚生農業協同組合連合会 医療従事者確保対策室

TEL:018-864-2651 e-mail: kakuho@akitakouseiren.or.jp

秋田厚生医療センター

TEL:018-880-3000 e-mail: akikumi@akikumihsp.com